

旧石器時代の石蒸し料理を再現！

【古代生活体験 11/7 開催】

11月7日(日)に、大昔の人々の暮らしを体感してもらおうイベントを行いました。石蒸し料理を筆頭に、弓矢を使った射的や舞きり式の火おこし、古代米炊飯と内容盛りだくさんのイベントでした。参加した子どもたちは元気いっぱいイベントを楽しんでくれたようで、古代人の気分を存分に味わってもらえたのではないかと思います。



縄文時代の狩りに挑戦！



火おこしで料理の準備!?

～今回の石蒸し料理の行程～

- ①黒曜石製の包丁で牛肉を食べやすい大きさに切り分ける。
- ②野菜やしめじ、牛肉をホウの葉にのせて、塩コショウをし、ホウの葉で包む。
- ③あらかじめ加熱しておいた焼き石の上に、②を置き、さらにその上に濡れた新聞紙、バナナの葉、土を覆いかぶせて30分待つ。
- ④出来上がり！ ホウの葉の香りがついた料理はとても珍しく新鮮だったようです。



【同時開催 ハテナ館と地域をつなぐ会による地場産物紹介】

古代生活体験に合わせて「ハテナ館と地域をつなぐ会」に、地場産物を使ったジャガイモのお焼きとすいとんを提供してもらいました。ともに原価のみの格安提供だった事、味もバツグンだったという事で大好評でした。



旧石器ハテナ館～相模川ふれあい科学館探訪

11月13日(土)に、館主催事業の「旧石器ハテナ館～相模川ふれあい科学館への探訪」を実施しました。今回の探訪は前回の「旧石器ハテナ館～勝坂遺跡探訪」に続く第2弾の探訪企画になります。探訪当日は天候にも恵まれ、秋の清々しい陽気の中、午前10時に旧石器ハテナ館を出発し、相模川ふれあい科学館までの約4キロの行程を様々な文化財をめぐりながら参加者と共に歩きました。

今回は下記のルートを探訪しました。

◎旧石器ハテナ館 → 石切り場 → 望地弁天 → 万平穴 →
江成久兵衛土堤 → 烏山用水 → 大鷲神社・白子園稲荷 →
田名八幡宮 → 相模川ふれあい科学館 → 狸菩薩

この探訪に合わせて弁天堂(望地弁天)に保管されている「木造弁才天坐像」(市指定有形文化財)の特別公開を行いました。普段はなかなか見ることのできない文化財を参加者の皆さんは熱心に見入っていました。

今回は、望地や水郷田名周辺の文化財探訪が中心でした。現在、これらの場所には水田が多く広がり、秋には黄金色の稲穂を実らせています。しかし、江戸期～昭和期にかけて、この周辺は幾度となく相模川の氾濫に見舞われました。その度に治水工事や用水整備を行い、新田開発に尽力した人々の思いを、今回見学した多くの文化財が語っていました。



望地の石切り場



望地弁天



万平穴



江成久兵衛土堤

勝坂遺跡縄文まつり ～土器の会による野焼き実演～

11月3日(水・祝)に勝坂遺跡公園で開催された縄文まつりのなかで、教職員を中心とした団体「土器の会」が旧石器ハテナ館で制作した作品を野焼きする実演を行いました。また、我々学習指導員も土器や土偶、埴輪を作り、一緒に野焼きしてもらいました。土器や埴輪は少し割れてしまいましたが、大きな損傷ではなかったので安心しました。焼き上がった作品は旧石器ハテナ館の作品展に展示予定ですので、興味のある方は会いに来てください。

↓指導員の自信作です



↑野焼きの様子

告知

旧石器ハテナ館の作品展に 作品をお貸し下さい

12月18日～26日にかけて作品展を行います。ハテナ館主催の体験教室で作った勾玉や土器等の作品を展示しますので、お持ちの方はぜひお貸し下さい。この他にも利用団体の作品や中学生の文化財保護ポスターも展示します。

↓昨年開催した作品展の様子

